

バギオ総合病院(BGH) 訪問記!

今日紹介しようとする所はBGHと呼ばれるバギオ総合病院です。BGHはBECIで一番近い総合病院だし、BECIで勉強している学生さんがどこか具合が悪くなったら一番よく行く病院です。勿論、マネージャーと一緒に！病院に行くようになる原因としたらやはり腹痛です。

腹痛はフィリピンみたいな熱帯気候の国を訪問する観光客に影響を与える一般的な病気です。でも一般的な病気として軽く思ったらダメです。下痢や嘔吐まで同伴する場合がありますので、その時は早速病院に行ってお診察を受けなければいけません。

ここで一つ！
‘非常薬の具備’についてお知らせいたします。
当校には一般的な非常薬を具備しておりますが、特別に飲まなければいけない薬がございましたら是非持ってきてください！
現地で買おうとしたら薬の値段が高いし、EMSで薬を送る場合は問題が起こる可能性があります。

ここがBGH! *

BECIから一番近い病院のBGHは当校から自動車ですら16分くらいしかかからないくらい近いです。位置上の長所だけではなく、もう一つの長所があります、バギオにある他の総合病院と比べて一番安い値段で診察を受けることができるということです。上手い医者さんに受けるいい医療サービス！



BGHには正門の前と後に広い庭もあります。新鮮な空気を吸いながら散歩することもできます。

BGHのすぐ隣にはバギオ医療センタ(BMC)という他の病院があります。他の病院とは感じられないくらい医療スタッフが二つの建物を رفتり来たりしています。

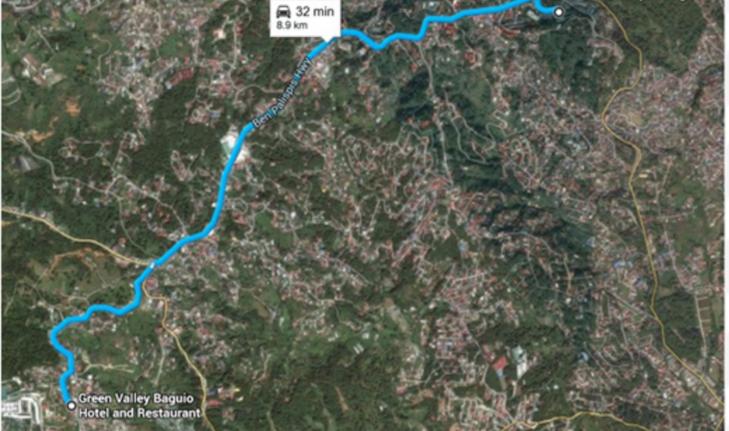


セント・ルイス大学病院とノートルダム病院

バギオには他の総合病院もあります。セント・ルイス病院(The Saint Louis Sacred Heart Hospital)とノートルダム病院(Notre Dame Hospital)です。この二つの病院はBGHと比べて規模が大きいし、もっと早いサービスを提供します。逆に診療費が高いのが短所です。

位置は?

この二つの病院はバギオ大学校とSMモールから近いです。バギオの中心と言えます。BECIからは32分くらいかかります。メイン道路はいつも込みますので、もう少しかかるかもしれません。交通渋滞を回避したらもっと早く着けます距離です。



BECIのJI学生の診察のためノートルダム病院を訪問しました。



ここは救急治療室(ER)

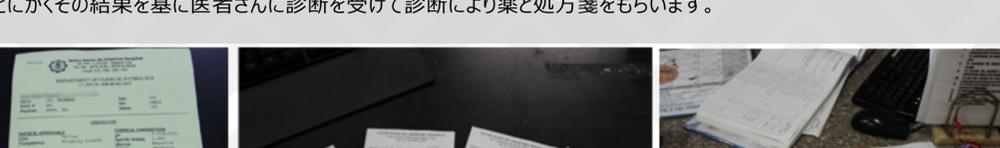
患者はER(emeergency)と呼ばれる救急治療室で診察手続きをします。最初診察のため患者の情報を全部記入します。



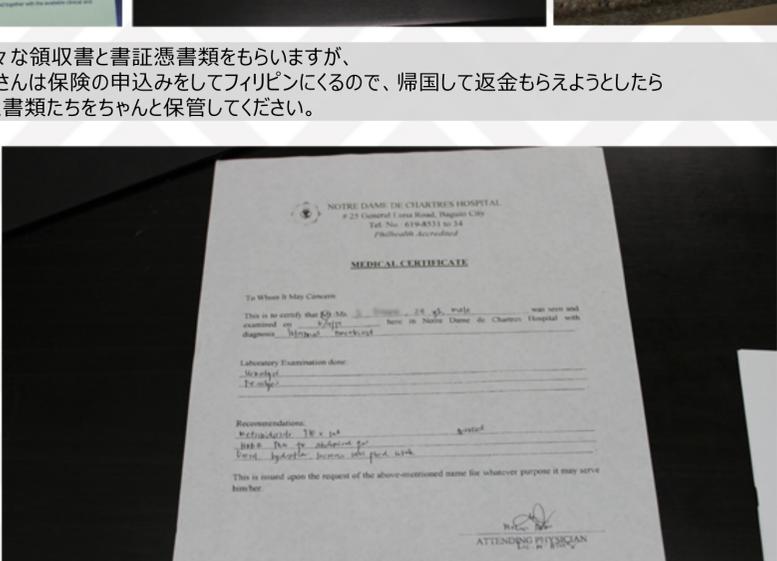
まず、救急治療室に行って外国学生のための情報を記入します。そして、診察を始めます。診察の開始前何個か質問とテストを受けます。一般的に熱のチェック、背と体重測定、両便検査が進行されます。



単な検査結果を待つまで所要される時間は1時間くらいです。日本と比べたら遅いでしょう。とにかくその結果を基に医者さんに診断を受けて診断により薬と処方箋をもらいます。



病院から色々な領収書と書証憑書類をもらいますが、大体の学生さんは保険の申込みをしてフィリピンにくるので、帰国して返金もらえようとしたらこの領収書と書類たちをちゃんと保管してください。



また、診察を受けた後に上の写真みたいな診断書を受けなければ診療費の返金できませんので、覚えておいてその書類を受けてください。